

プレスリリース

「花をアートへ」

2022 年 1 月 15 日（土） - 1 月 29 日（土）

東京画廊+BTAP | 東京

この度、東京画廊+BTAP では、池坊由紀氏による「花をアートへ」展を開催いたします。

弊ギャラリーはこれまで、「現代における表現」をテーマに、日本の近代以前から継承される書や陶の展覧会を企画・開催して参りました。本展では、2002 年の花人・岡田幸三氏の展覧会に続き、「花の表現」を取り上げます。

2002 年の展覧会では、岡田氏がいけばなの最も古い形式である立花を展示しました。本展では池坊由紀氏による、枯れた枝木を用いたいけばなを展示する予定です。

戦後、広範な芸術分野に広がった「前衛運動」は、書や陶芸などにも及びました。いけばなにおいても「前衛いけばな運動」が起きました。

本展が戦後芸術の自由闊達なあり方を見直し、さまざまな表現の交流を促す契機になることを願っております。

池坊由紀（いけのぼう・ゆき）

華道家元池坊の次期家元。いのちをいかすという精神に基づき、西国三十三所の各寺院やニューヨーク国連本部で世界平和を祈念した献花を行っている。

主な活動

- | | |
|--------|---|
| 2000 年 | 三人展「イマジネーションは時を超える — 千住博・池坊由紀・近藤高弘展」を、日本各地で開催。日本画・陶芸とのコラボレーションを展開する。 |
| 2002 年 | ヴァンジ彫刻庭園美術館で、さまざまなアート作品と融和したいけばなを展示。 |
| 2015 年 | 現代京都藝苑 2015 遊狐草舎、Impact hub Kyoto（虚白院内） |
| 2018 年 | 東京藝術大学、スペシャルコンサート「Summer Arts Japan 2018 — 飛翔する日本の美」で、最先端テクノロジーと融合させたいけばなのパフォーマンスを行う。 |
| 2021 年 | 現代京都藝苑 2021 非とアニマⅡ 〜いのちの帰趨〜両足院、The Terminal KYOTO |



現代京都藝苑 2021 非とアニマⅡ～いのちの帰趨～両足院での展示

東京画廊+BTAP プレス担当: 鈴木佳世

e-mail: info@tokyo-gallery.com / website: www.tokyo-gallery.com

開廊時間 | (火-土) 12:00-18:00

休廊日 | 日、月、祝

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7 階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

www.tokyo-gallery.com